



木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 娘 姿 様
 松 葉 狩 津 成 形 封 筒 方 様
 津 師 之 方 様
 志 乃 拾 取 方 様
 右 記 事 之 方 様
 同 右 記 事 之 方 様
 三 行 又

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



御三方様へ 乃敷仕度

天保七年申九月

奉行夏

全下
御前

一 新野梅方松茸將流於

八月廿六日新野梅方松茸將流於

御流上五人梅方松茸將流於

新野梅方松茸將流於

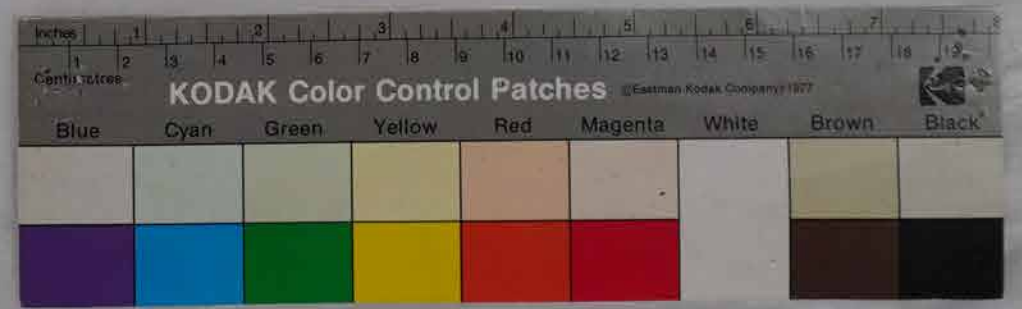
和色律角本野村之内

茸將流於 新野梅方松茸將流於

松茸將流於 一切松茸山

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



又見唐村守極之唐村中令其下
 中一統有之延至會年
 以無所復之出例也
 官及九才中一統中
 右守極村也延及一
 在唐村中令其下
 唐村中令其下
 唐村中令其下

月之有信少無之唐村中
 延及一統有之延至會年
 以無所復之出例也
 官及九才中一統中
 右守極村也延及一
 在唐村中令其下
 唐村中令其下
 唐村中令其下

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



細瀨津後長無山更
 右入用木村町割重万足
 名落面蓋山更
 天保七年申九月
 身行更 半治年
 為之由
 一 津所様 船名様 尾別様
 津所入子控以尾別御白
 女系様 津後人中
 津所様 九月十六日 津上京
 子控以尾同九月 村方津山更
 津所入子控以尾別御白
 子控以尾行更 尾下下

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



中山様へ 村方より 津後金本
 津前も 津中も 津後も 津前も
 奥向板 大風 方 九
 村方より 津前も 津中も 津後も
 奥向板 大風 方 九

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保七年申九月十五日
奉行 早治 船
金万石 奉行 早治 船
有之先月山 今出川殿
女中向 女中向 女中向
いぬいぬいぬ 拾枝 下台 下台
以可也 年一 下台 下台

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



九月廿一日
 佛代信方
 木野村
 年行夏中
 一村方番人信之清夏每日合衆
 卯之年申未日有夏之秋信夏之
 以申之年申未日有夏之秋信夏之
 秋信夏之約申未日有夏之秋信夏之
 合衆申未日有夏之秋信夏之
 是夏之申未日有夏之秋信夏之

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保七年申九月
 年行夏
 八十活平
 物

一、姫若様 忍従 忍従可 以 可
 九月廿三日 奉行 吉良 与 人
 忍従 中 之 少 吉 良
 塩 鯛 御 尾 之 例 以 増 大 吉 良
 之 目 録 之 部 上 仕 少 吉 良
 可 御 祓 祭 下 吉 目 之 吉 良 乃 吉 良 活
 目 録 祓 祭 之 目 也 右 上 御 活

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保七年四月九日
 年行度
 十作市
 海之船
 此子紙中...
 始若様明...
 出束九日...
 并花...
 眼...
 麻...

木野愛宕神社所蔵史料

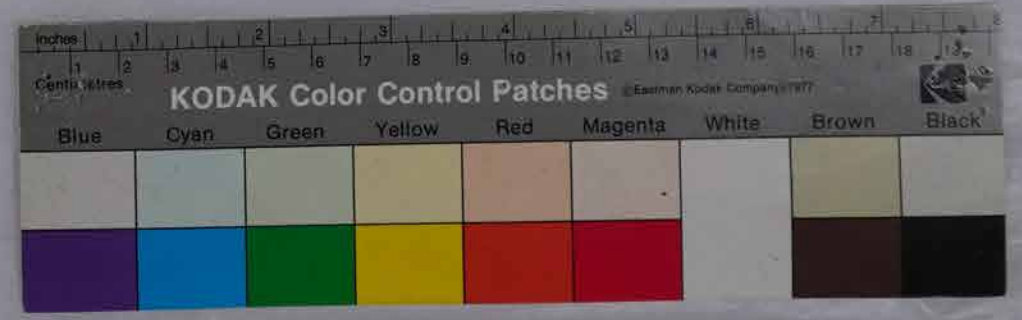
箱 4 - 5 6



十月二日
 清代官房
 木野村
 年行文中
 東六日
 刀指人
 右洞新
 有為日共書矣
 以石之粒久未落
 清海定守又之
 望

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

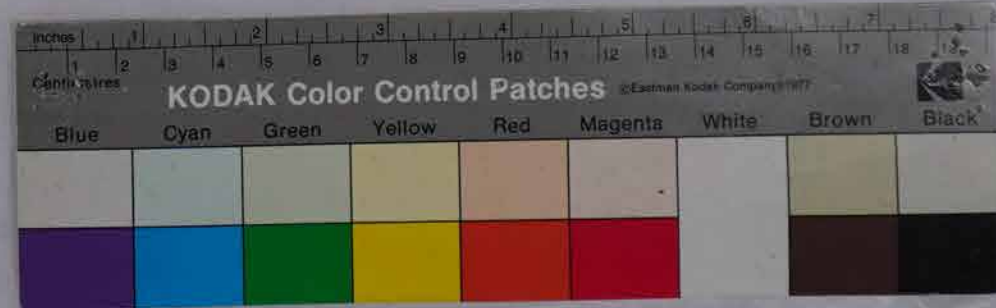


有之通 中紙系 炭封方
 年行書又 女人源作 帝所之 賜
 三書又 有之 人 可夫 中 水 漢 也
 P 漢 漢
 同 十六日 年 行 書 又 人 三 書 又
 金 心 帝 強 以 船 山 之 派 帝 所 之 賜
 有 七 人 水 漢 帝 中 漢 又

十 百 年 三 年 五 旬 未 三 書 又
 水 漢 帝 所 之 賜 帝 所 之 賜
 水 漢 帝 所 之 賜 帝 所 之 賜
 天 保 八 年 五 月 三 日

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一、百年に及ぶ所の御事之通
 米と云ふは割合に多し人可
 三、万八千八百石の米は
 万六千石に及ぶ之れは御事
 天保八年丙申
 出立なる所船流有るは米
 秤降改在御事之町に改定
 米十二日之自具教書に其米
 秤は重き通持系可多し之目録
 及通御事之別形御事之目録
 袋は御事之町に接可多し之目録
 為意に入金の上又重き町大

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保八年正月
 在之村正月十二日
 書付之持系之事
 改役所
 此役所
 改役所
 此役所
 改役所
 此役所

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保八年正月七日
 奉行 夏
 八月廿五日
 夏之助
 (Faint bleed-through text from the reverse side)

(一) 稗政 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆
 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆
 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆
 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆
 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆
 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆
 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆
 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆 〆〆〆

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



安井様、四年正月、
 料、
 六、
 拾、
 聖徳宗、

東寺様、
 三、
 聖徳宗、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保八年丙申四月廿七日
 向三浦池田
 天保八年丙申四月廿七日
 向三浦池田
 天保八年丙申四月廿七日
 向三浦池田

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一五身六、月古世月分七月
十二月十日、自時存三米三
三、分、止、也、村、方、
喜、賞、
取、時、重、取、場、
取、米、
天保八年七月
...
...
...

木野愛宕神社所蔵史料

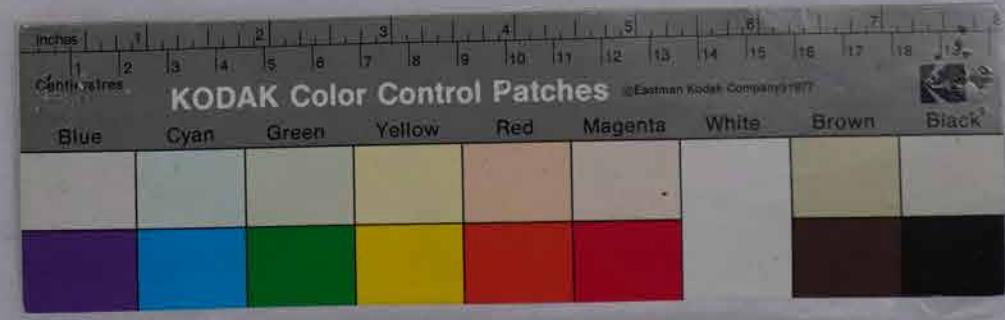
箱 4 - 5 6



(淡) 淡 淡 淡 小松 松 松 松 松 松
 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報
 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中
 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年
 天 天 天 天 天 天 天 天 天 天
 係 係 係 係 係 係 係 係 係 係
 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八
 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年
 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百
 七 七 七 七 七 七 七 七 七 七
 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月
 廿 廿 廿 廿 廿 廿 廿 廿 廿 廿
 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八
 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



（近清所新様、此清下守
先例、通清、鄭、書、卷、対
以、可、生、船、一、折、代、紙、可、可
各、所、金、治、清、情、之、包、在、初、加
刊、目、録、書、対、清、代、官、極、之、
徳、世、其、下、其、方、之、通

生船

一折

木野村
奉行事

有、之、通、八、折、清、礼、在、清、以、坐
修、与、清、鄭、之、仕、忍、收、中、上、各、又
奉行、事、本、下、有、清、其、以、清、想、以
八、折、清、有、之、人、在、清、以、其、又

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保八年八月報

（同八月廿八日）

津首途子村乃人足意和
年行更太系舊
金八第 乃之也 德治第 八第
考之也 考之也 直正第

右拾人外別 津書所求為

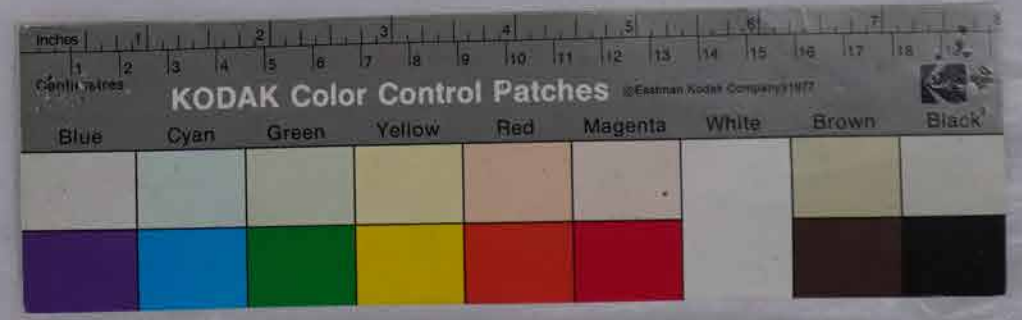
同の年行更 伴丹玄園

（同十世）

津新様園東津下向村
十三日 庚八月 時令 摩下 言 村

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



拾人求勤 又 右名 初在 通
 年行 又 太 亦在 傷
 三 又 結 以 市
 直 以 市 又 石 之 則
 源 以 市 深 以 市
 拾人

(村) 乃 居 屋 卷 地 面 積 郵 務
 簿 簿 對 書 對 古 之 通
 然 簿 簿 乃 志 且 書
 (今) 股 寺 社 町 人 合 坐 一 日 彈 鎖
 地 圖 自 古 未 泯 簿 簿 對
 天 祿 也 未 泯 簿 簿 對 公 司 紙 以 簿
 當 村 居 屋 卷 古 拾 乃 志 且 書

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 5 6



一 津新様園東公津由縁
 此程以等寸十月十日有物六時分
 村方所麻上下之由程以等寸
 津新様同古之例之通
 寸白女三寸一折
 津新様上仕伴丹玄園之由程
 中上之由程

別年行夏本在島然以等寸
 友人上津新様所之津由
 飯乃敷仕由程又
 右名前古之通
 年行夏 太弟廣
 右之助 淺中弟
 右之助 強之助
 右之助 又治弟
 右之助 右之助
 右之助 右之助
 右之助 右之助

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保八、第九、十月、十一月、十二月、
 年行受
 大上巻
 徳治第
 源治第 巻之八
 有抄之人 在後巻又
 別八平治第 有記 巻又
 有之 通之 貞和等 有伝所 巻又

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保八年正月
 年行
 本下有
 一清所様園東古清地
 為清祝下十一月十日
 金子裁方丈村方
 筆又才在寸十二日一編
 乃舞女神様
 清海使一編

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保九年戊辰二月
 奉行夏
 大上在處
 熊平市
 代作入拾三全部卜入用
 捨皮屋
 赤松橋

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保九年戊辰三月
一、無度村方、後、花、麻、谷、村
石、性、庄、清、伴、林、功、弟、南、年
或、拾、三、五、二、本、成、以、者、春、子、世、又
信、弟、以、別、方、祝、金、子、万、更
了、新、弟、以、更

天保九年戊辰三月
奉行更
本、弟、在、處、
然、弟、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

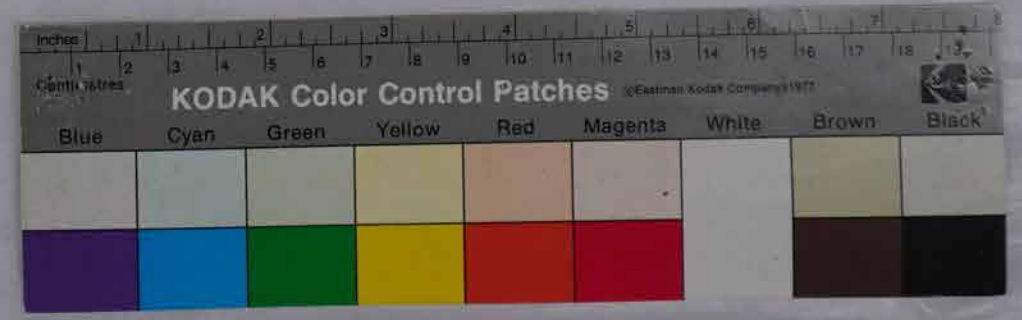


一 無反村方 和八第輝強之如
 新系村万性 空廣娘 一 地者
 角年或捨 亦成 寧有嫁 世信
 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟
 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟

天保九年正月
 弟行夏
 大弟 弟
 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保九年戊辰三月
 第一行夏
 大森源兵衛
 德以平

一、所及村方在後之上修築後
 備取僅以多他新古水入下
 山左一統統出利初念戊辰
 十三日下大森源兵衛書
 本動少夏

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 5 6



大嘗年様 灌頂 正行
 御統 系々
 中九月十日 二人子 吉村

今三来
 彦次
 御統
 善書
 善書
 善書
 善書

所記
 所記
 所記
 所記

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



小言実三白
 右四人
 此中
 推年
 長年
 平
 今中
 汁白
 右乃或

年
 全
 若

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保九年十月九日
 年以又
 全一第
 石右分
 右村之在左中人之
 系十立約有可也
 清以而く石右分
 石右分
 石右分
 石右分

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text on two pages of aged paper. The right page features a vertical title '江戸の書' (Edo no Shō) and several columns of text, including '江戸の書' and '江戸の書'. The left page contains two columns of text, with the right column starting with '江戸の書' and the left column starting with '江戸の書'. The text is written in a cursive style.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



<p> 右之邊は... 此令... 此令... 此令... </p>	<p> 此令... 此令... </p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>
		<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>	<p>此令...</p>

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保十一年八月
 諸別堂名知本野村
 本寺重寶
 天保十一年八月
 淨白抄録
 一先年弟等弟中者私方上卷等
 世方後弟等不修之修多之修多
 世多者名名海大津若方名加
 誰誰仕公等世居居共提得村
 又世弟中者世居居
 九餘様上津若大津若以守私
 姉姉子中津若大津若以守私

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保十年庚子十二月
 福元、庄、清、宗、行、友、人
 安永作在末大進様
 木村五郎元様
 天保十年庚子十二月
 福元、庄、清、宗、行、友、人
 安永作在末大進様
 木村五郎元様

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



松尾重頼之口書

一
松尾重頼之口書

定年未詳之書多々見付るに
此書亦其類也其書中に
在松尾重頼之口書とあり
世に傳へられたる者多し
其書中に見ゆれば

此書は松尾重頼の口書にして
其書中に見ゆれば
其書中に見ゆれば
其書中に見ゆれば
其書中に見ゆれば

天保十一年十二月
十三日
松尾重頼
口書

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



村方洋殿願書
 書文之夏
 安平作有夏之進様
 木村玄平元様
 年行夏
 書文之夏

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



惣名額と日書

(村方) 氏神降殿之辰候
之由及御祭之由
御仕度
之由
惣名額と日書

天保十一年子二月

木野村

年行事

惣名額

安永平作右京大進様
木村玄奉允様

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一、此度... 在東光坊... 見... 伴... 命
 由... 平... 某... 相... 者... 娘... 妻... 之... 終... 人...
 實... 情... 中... 友... 守... 存... 心... 在... 村... 何... 方... 公... 存... 若... 障... 惟...
 至... 一... 切... 無... 所... 存... 以... 候... 清... 潔... 誠... 心... 之... 祈... 禱...
 實... 在... 為... 成... 下... 之... 誠... 心... 信... 念... 子... 存... 心... 之... 誠...

天保十一年
 五月... 日
 新... 白... 治... 市...

一、家... 在... 東... 門...
 日... 金... 命...
 年... 幼... 更...
 志... 也...

安平治石系大進様
 少村兵衛左様

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 村方氏神祇殿之根柢ノ外及
 破損ノ付并度ノ元甚年ノ修仕度
 乃 何年ノ修繕致シテ済マシ
 乃 成下ノ根ノ忍生類ニ以テ
 木野村
 文保十一年
 壬子月廿五日
 妻平治右京大進様
 木村兵庫 乞様
 木野愛宕神社
 御
 御
 御

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



牧野氏... 御... 御... 御... 御...
 六月... 右... 右... 右...
 采田日向... 上... 子... 右...
 采田日向... 上... 子... 右...
 采田日向... 上... 子... 右...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on two pages of aged paper. The text is arranged in vertical columns, with some larger characters and some smaller, more densely packed text. The right page features a large, bold character that appears to be '心' (Heart/Mind) written in a stylized manner. There are also some smaller characters and what looks like a date or a specific reference.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



仙洞所 出御 舟内 舟内 舟内
日致 舟内 舟内 舟内 舟内
舟内 舟内 舟内 舟内 舟内
舟内 舟内 舟内 舟内 舟内
舟内 舟内 舟内 舟内 舟内

百十八月十九日

後御所

右御所書 舟内 舟内 舟内 舟内
舟内 舟内 舟内 舟内 舟内

舟内 舟内 舟内
舟内 舟内 舟内

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



木野村

仙洞御祈山明神上る成山母
兼備鳴鳥俾山以 作上
多一統在信平山事
他日救之有長言以由法之
之事

大角公程入念言事

泚代官方

十一月廿一日

泚書角... 年行史

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



正徳十一年
 正月十日
 本村
 年
 正月十日
 本村
 年
 正月十日
 本村
 年

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



南陽書

故院様
明神去
十一月二十日
福輝
野宮社
願注連
事
前福輝
及
天作
後通
お
之
御
取
中
之
言
之
月
古
方
之
天
作
後
通
お
之
御
取
中
之
言
之
月
操
渡
付
注
連
魂
お
之
御
取
中
之
言
之
月

及
其
書
之
右
列
願
注
連
魂
お
之
御
取
中
之
言
之
月

天保十二年
正月十日

野宮社藏書

中野村

若木平次

日記

北野村

若木平次

南陽書

南陽書

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



故院中謄号

光格天皇

宣下お所下以旨法中法介一書部より也
五字迄有下

藤部勝助

乃怨を頼る上書

一 亦友懐校村新を備娘との高年
二十才にお娘者私伴破の書其
語中友を居るをいふより其若居る後
一切を由る有る何事申情怨一上
所居客有 又下は新を仕合を合
以上

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保十二年

里山月十七

本郷村

和次郎

又次郎

年次

又次郎

和次郎

守平次右京大進様

本村玄庫九様

茂山乃曾様

奉書院宮様 九月 奉書

傳之 鳴鶴 為信 傳正 伴

仰 上 月 日

此月 日 延石 河内 氏

不 幸 事

御代 官方

十月 十二日

本郷村 方 御書

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text in cursive style on aged paper, organized into vertical columns. The text is written on two pages of an open book.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一、
 必念村江宿も花... 村...
 沙... 村...
 沖...
 天保拾年...
 十月...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 村... 有... 荒所... 舟... 御... 御... 御...
 天保... 舟... 御... 御... 御...
 御... 御... 御... 御... 御...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



此の事は村方の... 宜しき事なり... 入札は... 代領の... 子... 仲... 湯... 流...
 此の事は村方の... 宜しき事なり... 入札は... 代領の... 子... 仲... 湯... 流...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



以爲名ノ事類ヲ以テ村ヲ長クテ
一ノ所全拜村ヲ作スルニ即村ニ
作ルニ造心申事ノ記此ノ村ニ
所ノ事ノ所ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事

此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
此ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



此の神は... 中下は...
 初と日... 遠く...
 中下は... 村... 流...
 天保... 七...
 島... 荒...
 此の神... 甲...
 此の神... 村...
 此の神... 島...
 此の神... 荒...
 此の神... 島...
 此の神... 荒...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



此代書の證文事
 一 村長 有之旨字の封書
 右所 亦白紙の封書 南上
 の封書は 村長 之代書
 の旨 海州 ともなる
 所 上の 及 村長 封書
 一 封書 亦白紙の封書
 其 封書 一 封書 亦白紙の封書
 為 封書 仍と證文事
 天保十二年 村長の
 七、八月 封書
 封書 封書
 封書 封書

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 此年静内村の住人等々は根六の爲にナ
 カと云ふは有様事し無事是年ナ
 事なしは所々有様事し無事一切
 官々々 何年静内村
 御事事々々 御事事々々 御事事々々
 奉り候也

静内村
 歳行司
 全八段
 五段

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保三十二年
 三月廿七日
 書名 宗入進様
 倉下 将曹様
 願
 一
 二

今有移居村の村と云ぬ。若し其の
 田舎の有様其の信じて小もつらむに
 多分とす。一畑に於ては其の
 情事と
 寺に於ては
 先此より

伝承物語と云書

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



天保十三年
 其方共六百
 長石石山石道様
 石二樽曹様
 願
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

甲辰卯交卯之入用之程
 村方在浪舟津本村之右
 勘定年 測方有之也
 記之修方有之也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style on aged paper. The text is arranged in vertical columns on both pages. The right page features a prominent vertical line of text on the right side, with several shorter lines and characters to its left. The left page contains several lines of text, including some larger characters that appear to be section markers or specific names. The paper shows signs of age, including discoloration and some wear at the edges.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



乃振有子中
 天保
 年
 月
 日

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 村方の事... 銀百部... 一 流...

歳行筆
 路銀...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



古勅令...
 一 御般様御用白...
 村方一統...
 乃委古...
 卯八日
 天保十四年
 本行...
 龜...
 ...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, spanning two pages of aged paper. The text appears to be a historical record or a religious document, mentioning various locations and events. The right page begins with a large, bold character '田' (Tani), followed by several lines of vertical text. The left page contains more vertical text, including what appears to be a date '天保十一年' (Tenpo 11) and '八月' (August). The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



皇世奉願書

一 四品夏袍 一 領

下有
書名不存現野之文人の神事其
口舟中主日神事之記神職の指
名用は神事と勤の記の神事
衣袍破損仕合也思

當御般様之例に追及他一領
御事附記如左に於て神職一統御事
仁合寺に於て 何年願書に追及
神事之為 如左に於て御事願書に於て

天保十五年辰三月十日
皇居直入進様
鹿山侍曹様
五郎村
養丹権五夫平
養下助右衛門平

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten text in Japanese cursive (sōsho) style, spanning two pages of an open book. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, typical of historical Japanese calligraphy. There are some faint markings and bleed-through from the reverse side of the pages.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten text in Japanese cursive (sōsho) on two pages of aged paper. The text is arranged in vertical columns, typical of traditional Japanese calligraphy. The right page contains approximately 10 columns of text, while the left page contains about 5 columns. Some characters are faint and difficult to read due to fading and the age of the paper.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 位 様 志 十 百 山 花 甚 喜 山 寺 海 津
 海 外 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔
 進 言 三 五 福 也
 一 今 日 海 津 海 外 申 渡 目 身 故 三 五 福 生 申
 一 今 日 海 津 海 外 法 教 甚 全 信 仰 申 申
 有 一 途 三 五 福 也

有 一 途 三 五 福 申 申 申 申 申 申 申
 一 途 三 五 福 申 申 申 申 申 申 申
 一 途 三 五 福 申 申 申 申 申 申 申

正 徳 十 二 歲
 正 徳 十 二 月 十 六 日
 一 途 三 五 福 申 申 申 申 申 申 申
 一 途 三 五 福 申 申 申 申 申 申 申
 一 途 三 五 福 申 申 申 申 申 申 申

木野愛宕神社所蔵史料

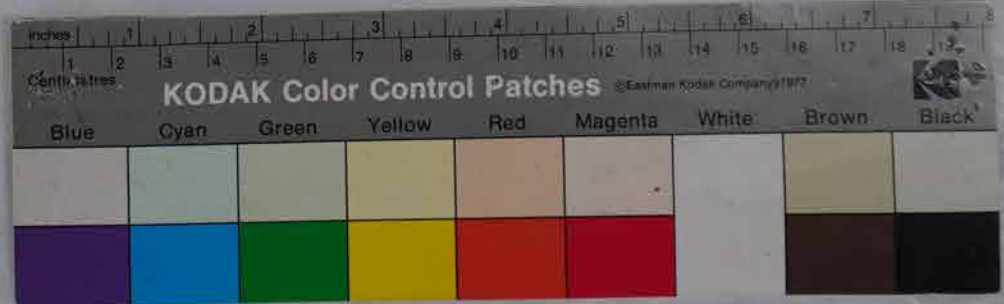
箱 4 - 5 6



左記十月七日... 御政後所
 一様... 御政後所
 御政後所
 御政後所

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text in two columns, likely a record or inventory list. The text is written in cursive (sōsho) style.

Left page:

- 御政所
- 存并於...
- ...

Right page:

- 千...
- 一...
- ...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 幸号改元弘化元年...
 作如常山城守...
 辰年三月廿一日
 下...
 辰年三月廿一日
 一 存...
 下...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text in a notebook. The left page contains several vertical columns of text, including names like '天保拾五年' (Tenpo 15th year) and '湯口権左衛門' (Tsuiki Kenzemon). The right page also features vertical columns, with '一葉三葉' (Iwa Sanpaku) and '名流左衛門' (Narumasaemon) visible. The handwriting is in a traditional cursive style.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on two pages of aged paper. The text includes various characters and symbols, including a small box containing the characters "南" (south) and "北" (north) on the right page. The left page contains several vertical columns of text, including a date "元化二年" (Genwa 2nd year, 1185).

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



覺

一 神子もれは後身神一 両代新撰分
 由來つねむ之に如村有難也
 此寺若上は如村分氏神神像指は之有に如
 左六に交ゆるるりしに拂。 此は神像一 此佛殿
 此神像無本石の佛し。 此に云ふるも
 此神像は分はらむ。 及びに神。 此に云ふるも
 此神像は分はらむ。 及びに神。 此に云ふるも
 此神像は分はらむ。 及びに神。 此に云ふるも
 此神像は分はらむ。 及びに神。 此に云ふるも

これ角

今言是 此中
 一 二言是 此中
 二 三言是 此中
 三 四言是 此中
 四 五言是 此中
 五 六言是 此中
 六 七言是 此中
 七 八言是 此中
 八 九言是 此中
 九 十言是 此中

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



村宮神社見ふりし竹宮備村量中
 食ふ所也此の宮因備心込金八官若る
 格授りて候事文の事有御以紙洋殿
 出之宮標野々宮標右宮標太神宮標編
 仁院寺出之紙語見ふり成りて原紙

變

一 村方種格... 乙
 此の字の... 下...
 降... 一...
 甘... 用...
 作...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



The manuscript pages contain handwritten Japanese text, likely a historical record or a list of names. The central diagram shows a vertical line with '東' (East) on the left and '西' (West) on the right. The text is organized into columns on either side of this central axis.

Left Page:

- Top: 古書安, 古書之, 古書之
- Middle: 山池屋太友, 古書之, 古書之
- Bottom: 田中寅法良様, 中川甚茂様, 荻野様

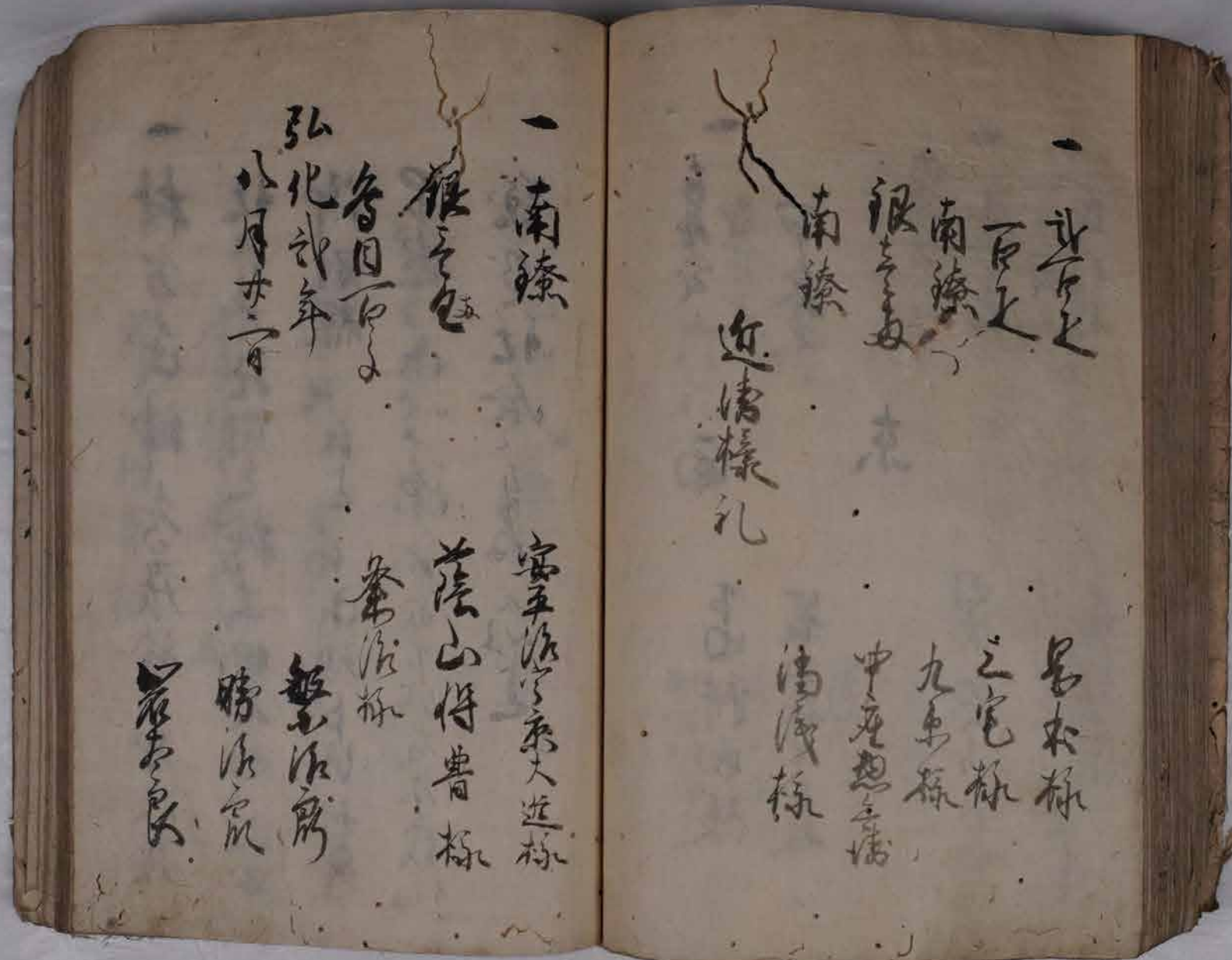
Right Page:

- Top: 己八月廿日, 弘化御年, 弘化御年
- Middle: 湯丸入用, 山法良, 岩山, 金八郎, 繁房
- Bottom: 海難有仕立多者, 金山良岩寺高木野, 芝場近送, 山法良, 山法良

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一村方武神多辰跡之分枝類
 社以社同之橋本四尺也之本
 御殿様々々之而此類中は又
 早速之由は源氏下は左に載化
 類之化命之在りて之

別為通孔表代官様々
 銀々々之通孔化居物
 一各派様々各月記々々是下
 宇津原字系大巡様
 薩山得普様

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



弘化貳年己九月十二日
 年行夏
 書
 一先定標名所書造
 一全書本卷之物
 一五卷之全書
 一四卷之全書
 一三卷之全書
 一二卷之全書
 一全書之全書
 一全書之全書
 一全書之全書
 一全書之全書
 一全書之全書
 一全書之全書
 一全書之全書
 一全書之全書

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 5 6



一 宗子 新長 武子 叔子
 一 宗子 源三 玄海 源三 叔子
 一 宗子 林作 武子 叔子
 一 宗子 源三 玄海 源三 叔子
 一 宗子 源三 玄海 源三 叔子
 一 宗子 源三 玄海 源三 叔子
 一 宗子 源三 玄海 源三 叔子
 一 宗子 源三 玄海 源三 叔子

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 年 實 驗 了 一 出 神 山 佛 氏
 一 多 拾 之 百 廿 拾 了
 一 冬 居 入 考
 一 冬 高 也
 一 佛 洞 寺 中 七 年 代 武 之 百 字 了
 一 佛 氏 軍 中 四 年 代 武 之 百 字 了
 一 佛 氏 武 後 代 之 百 字 了
 一 武 之 百 字 了
 一 武 之 百 字 了
 一 武 之 百 字 了
 一 武 之 百 字 了
 一 武 之 百 字 了

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 5 6



一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代
一 志平 代 志平 代

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 五ノ境 代 代
 一 平ノ二 代 代
 一 大ニ 代 代
 一 板 代 代

實物入用拾貫之方之拾之了
 大工親後冬目之了
 冬目 冬目 冬目
 冬目 冬目 冬目

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一統目出屋戸網山以上
 弘化元年
 己亥十一月二日
 寺内家奉行
 山本清房
 岩倉守
 入字廻之檢目貴石松之
 村方常日体氏神様 御酒儀
 大寺寺政之方以松
 分寺之方以松代官松
 松代官松

木野愛宕神社所蔵史料

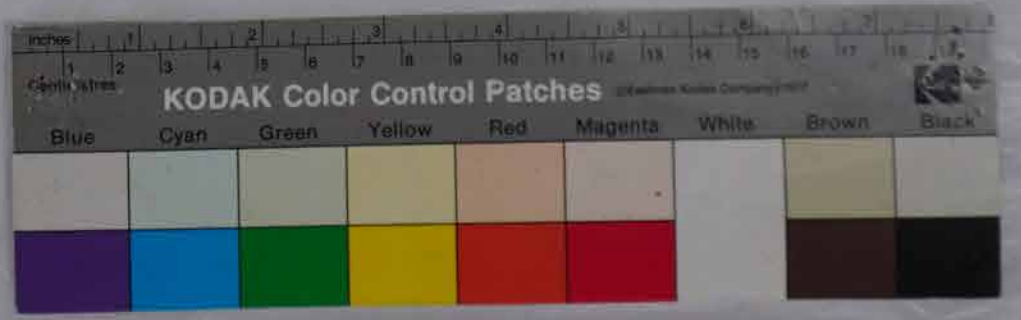
箱 4 - 5 6



己之年細銀之り
 一葉之百木 小堀橋を席取新
 は銀七拾六を 中尾 依之清
 一 銀七拾六を 湯は権九席
 一 銀七拾六を 穂積 孫七
 一 銀七拾六を 依之清 依之清
 一 銀七拾六を 依之清 依之清
 一 銀七拾六を 依之清 依之清

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



御奉行様

此系奉款出役馬之件不足之方
 由撤至中津種取願進向別紙出
 作出以之身村言書付了方出各出船書
 之取在畏以地丸南村入事各言高
 同報備村出地之場而作付之身以候

通野在野上之起取地之身之性書
 出取荒地書由用右動以役言未一切

城列書家部右野村

弘化貳巳年 年分重集門下

御奉行様

村為氏若会席下

木野愛宕神社所蔵史料

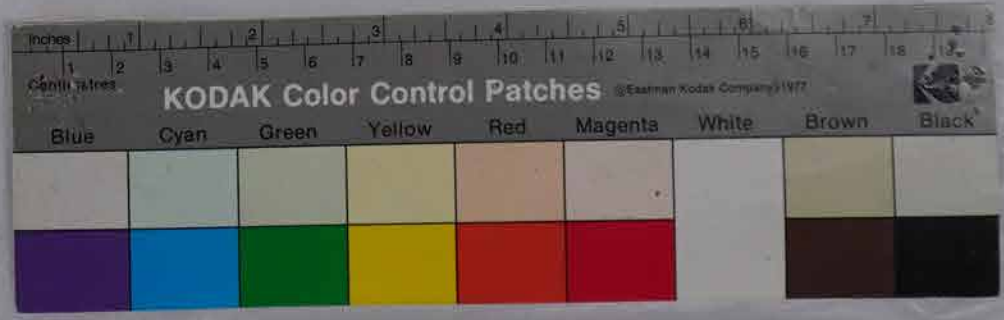
箱 4 - 5 6



一 櫻葉所 山崎 謝 鳴 善 信
 停止 作 事
 此 乃 致 進 了 作 事
 大 心 入 念 了 事
 二月 七 日
 村 事 行 事
 小 佐 治 氏
 弘 化 三 年
 年 二 月 七 日

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一休之病、乃作書、曰、
 此乃村中、河内、神、能、
 先、創、手、後、令、其、事、以、
 身、入、村、一、流、之、事、也、
 在、月、入、年、几、之、事、也、
 相、傳、於、世、今、其、事、也、
 乃、傳、於、世、今、其、事、也、

弘化三歲
 年二月廿日

年以事
 小佐治
 乃其反

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 5 6

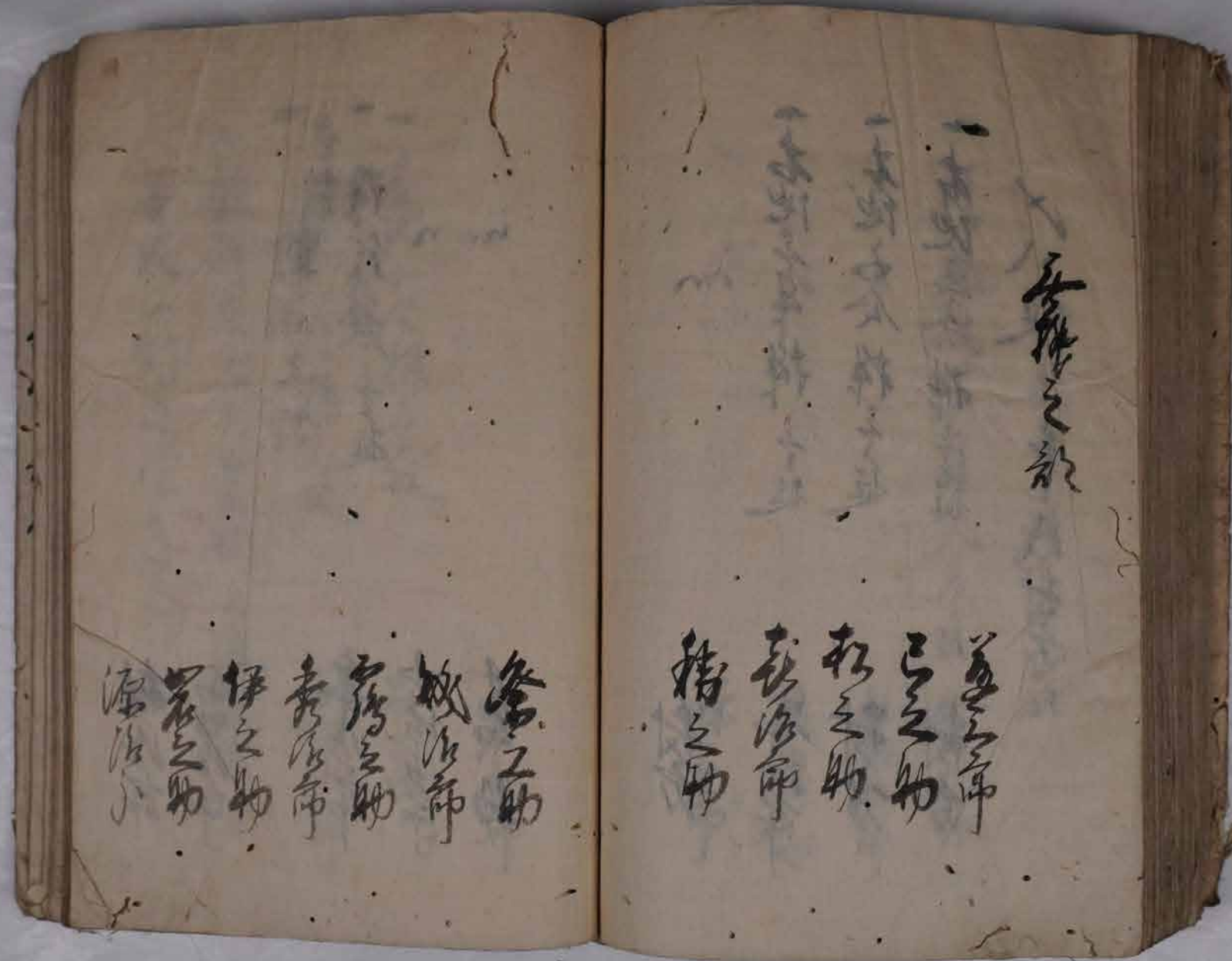


一 延英排字入字庭 金八席
 一 本池之合排字庭 忠治席
 一 本池之合排字庭 村方
 一 本池之合排字庭 村方
 一 八八庭 忠治席
 一 八八庭 村方

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



新調之於
 一 掃法真之庭
 一 本德小舎掃法庭
 一 本德小舎掃法庭
 一 新掃法之庭先例之通村方分
 吉原二刻引仕女
 若命
 忠信命
 若命
 若命
 若命
 若命

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 清見寺 寺下入 撰
 一 本地寺 寺下入 撰
 一 同 寺 撰
 一 月 寺 撰

一 右之通 高村之内 裏傍を 記す 此別
 一 寺 撰
 一 寺 撰
 一 寺 撰

一 撰
 一 撰
 一 撰

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



御用
御持座
年行夏
山法信常
山法信常

弘化三年二月
城別是宿都
本野村
年奉のまゝに
結人山法信常

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一は及安事... 延福御細...
 御代官方
 木野村
 年々...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一、此院 山内清三舟鳴り響き待止る日敷
 之儀たる迄るら船は町中屋原自身
 寄いた火共用公未陸つて急入舟中
 候なりとお福との也
 上下京矣在商賣今日より舟鳴り待止
 丙午六月廿一日夕方
 舟鳴り待止
 若野橋之物

一、此照守之文の時亦二日甚荒き舟鳴り待止
 了り舟鳴り待止中舟鳴り候不及沙汰
 以若方舟中候なりとお福との也
 右之通お福は此原出候なりお福との也
 年六月廿一日日
 若野橋之物

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 新法私院 出御 卯月 卯日 卯時
船穢之儀 出御 卯月 卯日 卯時
以 卯月 卯日 卯時 卯時 卯時

右之通 卯月 卯日 卯時 卯時 卯時
卯月 卯日 卯時 卯時 卯時

一 卯月 卯日 卯時 卯時 卯時
通 卯月 卯日 卯時 卯時 卯時
卯月 卯日 卯時 卯時 卯時

新法私院

卯月 卯日 卯時

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



年々りし日

一 女院 御祈言 奉法 賜為 不修 止り 月主
 以 札 著 諸 志 昭 宣 旨 由 り 若 丸 御 奉 送
 進 者 祈 言 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 之 賜 相 同 日 由 り 若 丸 奉 送 其 日 御 奉 送
 而 高 日 由 り 若 丸 奉 送 其 日 御 奉 送
 世 乃 り 一 つ 奉 送 其 日 御 奉 送 其 日 御 奉 送
 在 之 通 祈 言 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主

一 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 祈 言 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 二 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 祈 言 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 三 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 祈 言 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 四 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 祈 言 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 五 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主
 祈 言 奉 法 賜 為 不 修 止 り 月 主

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一右之通に船は秋津作出の船に上

年七月十八日

一青七首如茂川筋船あり之東に橋落抜
修末難お成り舟下之意に船は来
散立之旨之儀退り通至はるに船は
修末若くは是の旨其方より心は

平島地事之旨平通りの儀に難お成り

右之儀修中儀なりし船に

右之通に船は秋津作出の船に上

年七月十二日

一三之条に橋之内暇決りし修中之旨に板

橋掛添お成り今日十二日平島之外に

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



未了録
 右之通 此作止の方り船りて
 年七りり十日 年行交
 新野坊之助 小境次郎
 岩屋師
 一吉無念佛之儀は多し所傳止中し要
 村曾心ゆりて証斗とる所おひ中し
 表本二言述とる故や未割年之通
 五更也石本とる中船りての有りて
 以右の所傳止中し故也変りぬら
 右の通に付右内陸心付る方り
 遠く傳へし船りて故也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一、此書乃在町中屋敷自月書
 月廿五日辰刻新法形院御書送
 御海以月令女女日自月書書免
 以若書名法中法印之書福之也
 年七月十日
 友之通也福也福也福也福也
 林野精之助

九月一日... 神... 喜...
 神... 喜...
 神... 喜...
 神... 喜...
 神... 喜...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



久遠河より河故橋より橋ハ
道より下修事あり候。と。温氣
ハ此所より。年行事每人代と人
車敷。及橋時偏り。下河と。温氣
より。此より。去河より。引連と。此所より。年連
事行事。ハ。此所より。河。此所と。と。此所
事。年行事。每人代。と。此所より。此所

此所より河此所と。此所より河此所橋此所
河此所解此所と。此所此所此所此所此所
此所此所此所此所此所。此所此所此所
此所此所此所此所此所。此所此所此所
此所此所此所此所此所。此所此所此所
此所此所此所此所此所。此所此所此所
此所此所此所此所此所。此所此所此所

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



連年凶作

弘化三歲丙午九月

事行畢

山口在治少我河梅原
 福原とよはあふくまの梅原
 多々志はあふくまの梅原
 神原も梅原とよはあふくまの梅原

梅原及
 赤澤少
 新中及
 赤澤少
 赤澤少
 赤澤少
 赤澤少

近衛河梅原少我河梅原
 山口在治少我河梅原
 福原とよはあふくまの梅原
 多々志はあふくまの梅原
 神原も梅原とよはあふくまの梅原

世に全在治少我河梅原

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

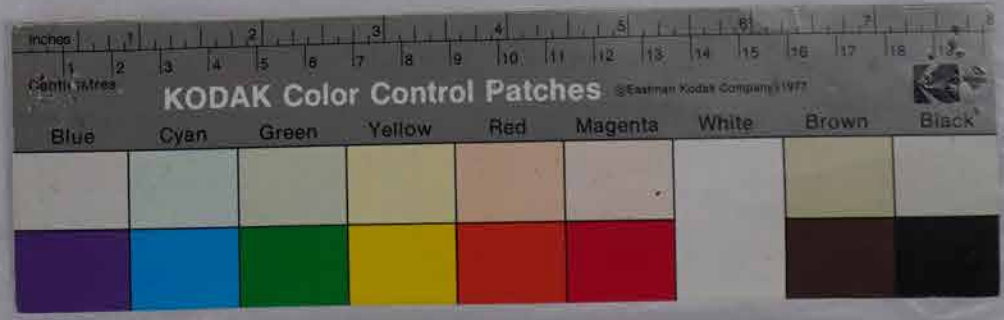


一 蓋所橋過之河之版と越はりて
 河原之邊に板河原の
 河原の邊に河原段と云ふ一河原に
 河原の人を拾人豊之拾人又豊之拾人
 之豊之拾人とは例に違はらぬ
 之を板河原の豊之拾人也
 河原の邊に河原段と云ふ一河原に

一 蓋所橋過之河之版と越はりて
 河原之邊に板河原の
 河原の邊に河原段と云ふ一河原に
 河原の人を拾人豊之拾人又豊之拾人
 之豊之拾人とは例に違はらぬ
 之を板河原の豊之拾人也
 河原の邊に河原段と云ふ一河原に

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



古及河所橋在大河橋任赤下
 河物有... 堀調二尾一折右端也
 奉行事五人 古及河赤下例河所人
 河所拾人 聖拾人... 聖拾人... 聖拾人...
 古及河赤下... 堀調二尾一折右端也
 奉行事五人 古及河赤下例河所人
 河所拾人 聖拾人... 聖拾人... 聖拾人...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



七月十九日
 能登子心後極此公書此
 此の書は傳也心しり
 中務
 大和
 本御村
 奉行事
 七月十九日
 奉行事

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

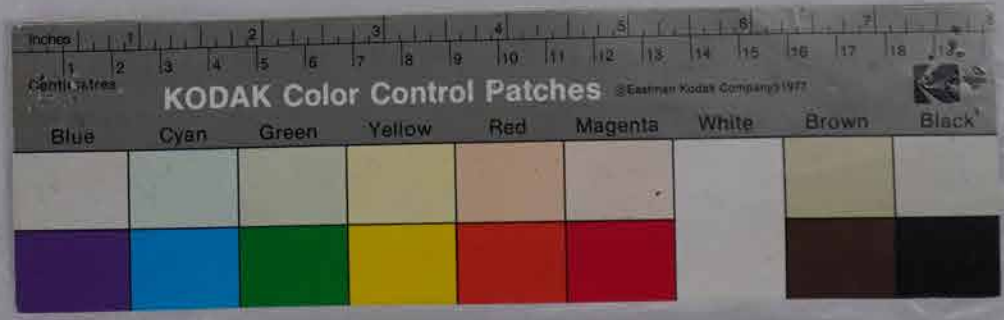


在... 天... 松... 河... 神... 河... 松...
 村... 松... 河... 松...
 河... 松... 河... 松...
 如... 神... 河... 松...
 在... 河... 松... 河... 松...
 殿... 河... 松... 河... 松...
 第... 河... 松... 河... 松...

此... 河... 松... 河... 松...
 小... 河... 松... 河... 松...
 第... 河... 松... 河... 松...
 弘化四年八月... 年... 事...

木野愛宕神社所蔵史料

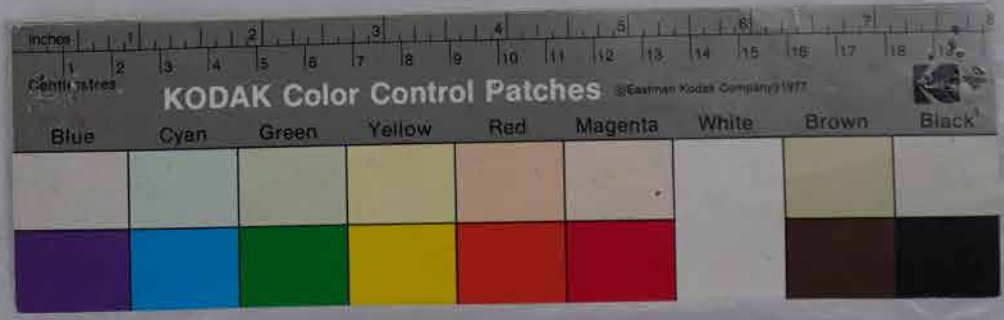
箱 4 - 5 6



一 流連
 毎之令宜云之在相守家嘉宗
 近年梅櫻花初草於其其以
 村方一流改改由書之進心位遠宮又
 山在相守可下人其位位遠之人
 有之入之日名所居村方之法遠
 進法可於山若後日連下此件

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



弘化四年末十月
 次以
 又
 勝
 小
 已
 岩
 去
 林
 子
 免
 喜
 若
 若
 若

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



此乃... 年行... 殿... 又... 新... 每... 原... 祭... 梅...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 此及村戸居居師上居居村
 下住波治中娘のり高年
 此後多しお成り太妻世世清
 第人別而社金子下又益
 第のり
 弘化五年一月五日

一 此及清殿様と申儀表居村又居村
 清殿様 居居村 此後多し
 此後多しお成り太妻世世清
 第人別而社金子下又益
 第のり
 弘化五年一月五日

年行史
 此後多し
 第のり

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



此書在江戶傳本... 村方... 支方... 乃... 取...

子行夏
書之物
為信也

乃名早也者

一 亦於後馬... 所料... 書... 池... 山... 所... 乃...

高永九年十月

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 5 6



壽永三年十二月
 佛行書
 此酒有可
 一九月廿五日當
 所撰為之
 口以道運
 一未飯
 汁梳或
 盛切

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 5 6



村中へんり
 一 赤飯 二 月明
 神主中 諸氏の 存性所 在 也
 一 赤飯 汁 概 式 奉 還 也
 一 酒 三 献
 盃 三 目 明 汁 概 式 奉 還 也

一 酒 三 献
 盃 三 目 明 汁 概 式 奉 還 也

一 赤飯 二 月明
 神主中 諸氏の 存性所 在 也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 香置
一 及物三
一 引者
一 十月
一 一
一 一

木野愛宕神社所蔵史料

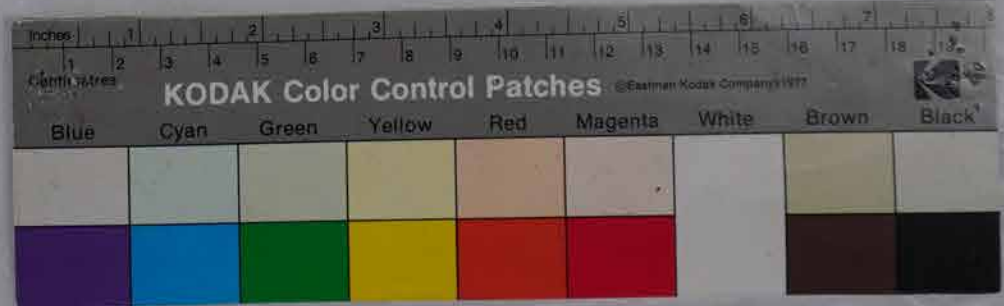
箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text on two pages of aged paper. The right page contains vertical columns of text, including characters like 酒 (sake) and 豆 (beans). The left page also contains vertical text, including characters like 白 (white) and 豆 (beans).

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 日 東 町 牙 齋 後 母 妻 人 子 別 大
 一 可 死 野 事
 一 在 中 町 酒 有 大 道
 一 小 酒
 一 赤 酒
 一 者 大 也
 一 十九日 沖 供 じ 一 舟 出 役 人 神 主 由 及
 一 舟 出 役 人 口 人 注 進 酒 口 人 口 下
 一 口 人 一 舟 出 役 人 早 小 舟 出 役 可 及 口 下

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



口口表渡一統、
 一羽後
 一汁
 一物
 一打の之

酒
 音三重
 左起可也

所無じの人
 一汁かけ後
 一酒

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一酒 魚汁 抄献
 一者 量 名 斗
 抄供 抄上 抄下
 一赤 夜 汁 梳 抄 献 合 抄 切
 一酒 魚 汁 抄 献
 一者 量 名 斗
 抄供 抄上 抄下
 一赤 夜 汁 梳 抄 献 合 抄 切
 抄奉 抄流 抄夜 抄月 抄好 抄吉 抄意 抄
 抄早 抄子 抄通 抄娘 抄

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 香のり
 一 酒
 一 夕飯
 一 汁
 一 香のり
 一 酒
 一 夕飯
 一 汁
 一 香のり
 一 酒
 一 夕飯
 一 汁

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

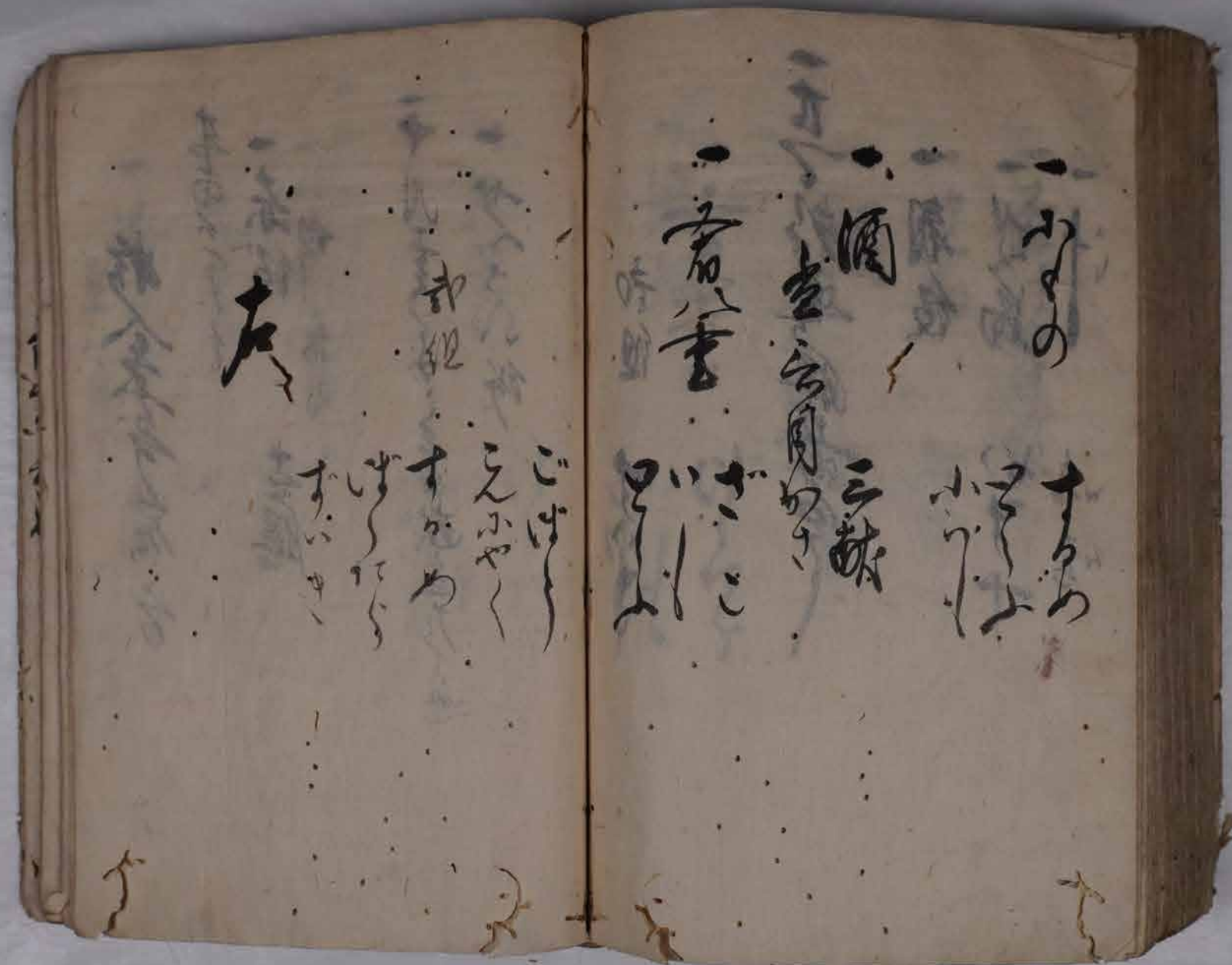


一 五斗 始造 膳者 一
 一 朝飯
 一 炊物
 一 汁
 一 加平十
 一 味
 一 和組
 一 一
 一 酒
 一 二缺
 一 香量
 一 三
 一 四
 一 五

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



杉入奉寄居言
 本當分らるる也
 一赤飯 吉膳
 一月五日 子 吉 献 迄 迄
 一せんがい候
 一水の
 一可なり
 一燧物
 一酒
 至らぬ候
 一三秋
 一かす
 一いんげん
 一いんげん

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 宵ぬき
 一 七月の...
 一 九月十日
 一 夕飯
 一 汁
 一 焼物
 一 小もの
 一 豆

一 宵ぬき
 一 七月の...
 一 九月十日
 一 夕飯
 一 汁
 一 焼物
 一 小もの
 一 豆

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 酒
 一 肴
 一 飯
 一 餅
 一 汁
 一 小の

一 肴
 一 飯
 一 餅
 一 汁
 一 小の

一 酒
 一 肴
 一 飯
 一 餅
 一 汁
 一 小の

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text on an open manuscript. The text is arranged in vertical columns on both pages. On the left page, the characters "酒" (Sake) and "香" (Fragrance) are prominent. On the right page, "酒" (Sake) and "香" (Fragrance) are also visible, along with other smaller characters. The paper shows signs of age and wear.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一 酒
 一 香
 一 汁
 十 音 者 遠 寺
 一 飯
 一 湯

一 酒
 一 香
 一 汁
 一 湯

一 酒
 一 香
 一 汁
 一 湯

一 酒
 一 香
 一 汁
 一 湯

一 酒
 一 香
 一 汁
 一 湯

一 酒
 一 香
 一 汁
 一 湯

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



Handwritten Japanese text on an open manuscript. The right page contains a vertical list of items: 口折 (Kuchizuki), 一重板 (Ichijouban), 一ふしの (Ichifushino), 一燈籠 (Ichidōrō), 一汁 (Ichijū).

The left page contains a vertical list of items: 一酒 (Ichishū), 一香 (Ichikō), 一着 (Ichichō), 一鉢 (Ichihachi).

Below these main entries are smaller handwritten notes and characters, including 'か', 'し', 'こ', 'り', 'し', 'か', 'り', 'し', 'か', 'り', 'し' on the left page, and 'こ', 'り', 'し', 'か', 'り', 'し', 'か', 'り', 'し' on the right page.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

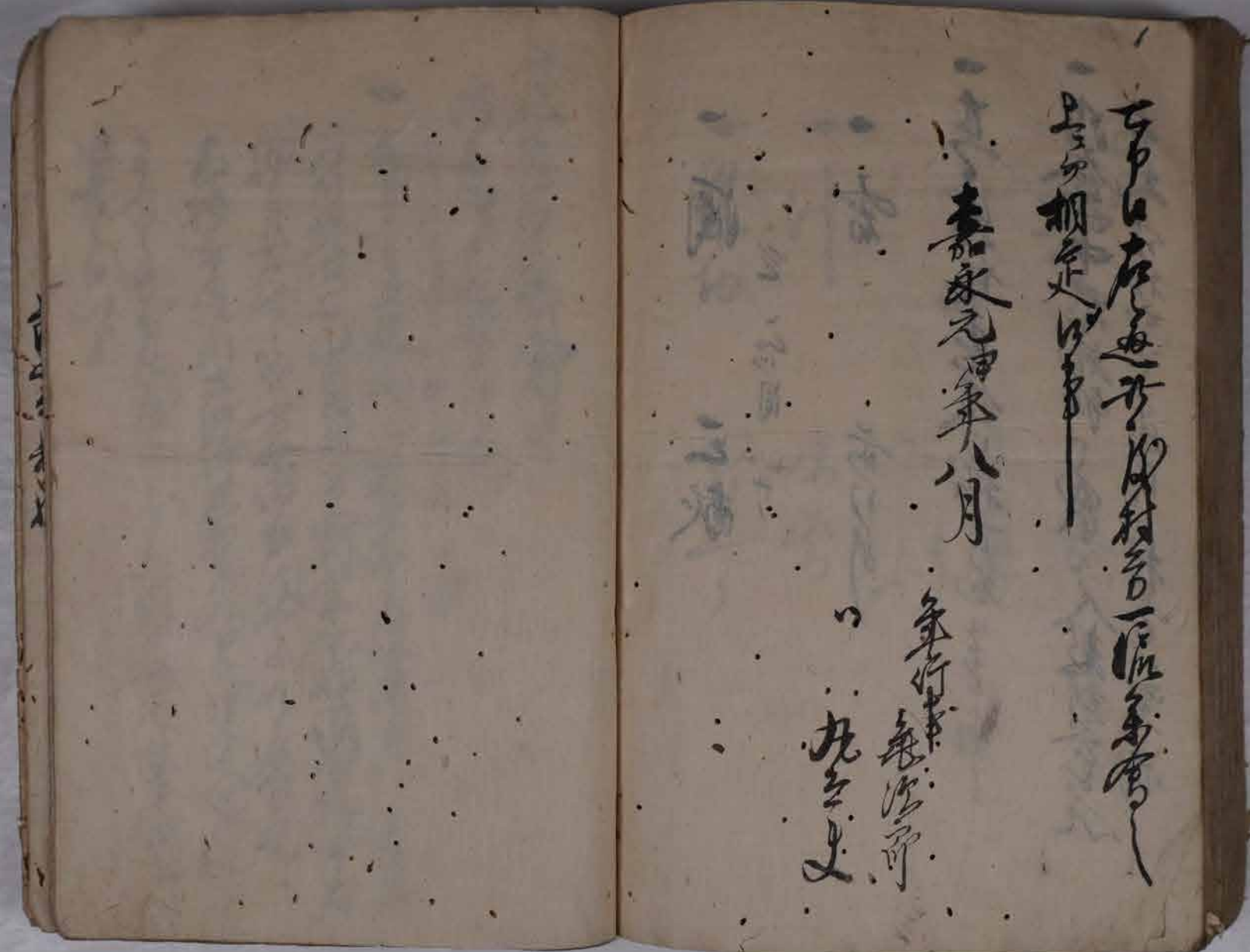


一 朝飯
 一 少の
 一 高
 一 酒
 一 香
 一 味
 一 味
 一 味

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



一美所新様の月其の中初之と申すは
 尚日常刀人足八人其在う六人先例迄
 焼六時迄此形迄七五知台空休作備作
 河床土物へ備若先例号へ前高及
 以中休作酒は所へ所助上右社事
 正月廿一
 年心辨
 九右又

申八月廿一
 石野村
 新
 修く早迄大形御免等請安人年仍及事目有取元
 村官内而高様連以へ之迄兼若若年御免
 所名中へ付台空休作備作上右社事

公
 石野村

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6



乃由是奉為口書
 一以亦有來りい小衣被換仕に可取集跡
 新高七六守巾六八長少同雜物
 以也來仕にわ津衣被換了り候一切
 寄り仕に仕奉り候旨無言に所交決
 此方 成中出給及思也取言上

嘉慶二年
 一月

立部大御所様
 彦山中務様
 内廷 查檢

梅子
 梅子
 梅子
 梅子
 梅子

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

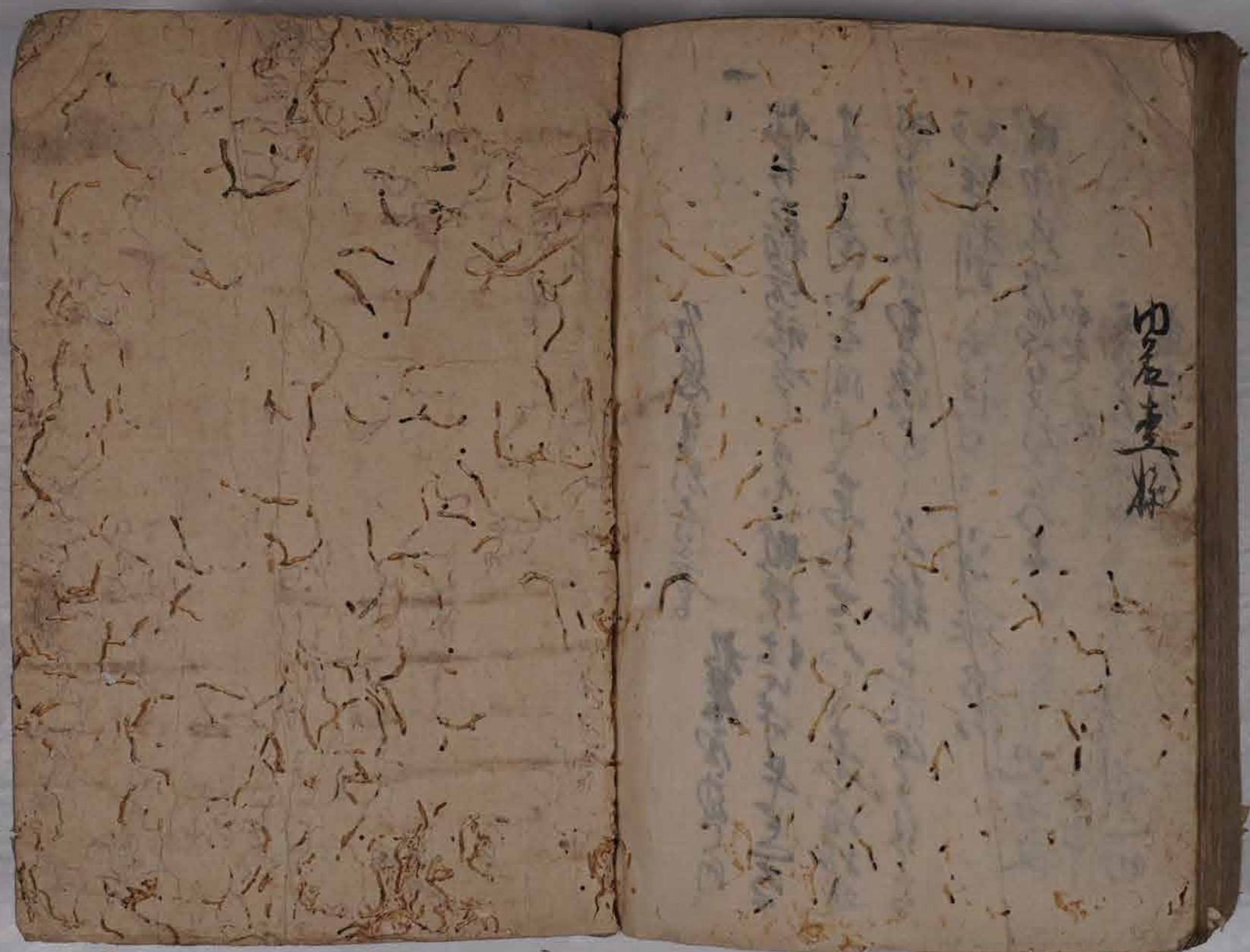


一、今般
 書讀以內所定名
 作如慈世百種
 多各修所用所書
 多管守書而教之
 嘉永元年九月
 三郎大和守
 兼山中務方
 内益堂
 寛政二年六月九日
 一、錫
 一、蓮
 一、...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 5 6

